

令和 5 年 2 月 4 日

学校関係者評価委員会 委員長 北澤 隆之

1 学校関係者評価委員会の構成

委員長：北澤 隆之 (PTA 会長)

委員：大崎美代子 (元教育委員・元校長)、廣田香 (保護司)、石山成明 (王子本町会三丁目町会長)、高木基雄 (王子田楽衆代表)、角田忠夫 (元 PTA 会長・民生児童委員)、山崎守義 (元 PTA 会長 青少年地区委員)

2 学校関係者評価委員会の主な活動

(1) 6 月 11 日 (土)

本校会議室において第 1 回学校関係者評価委員会を開く。授業公開、参観。学校から今年度の経営計画 (中期経営目標、短期経営目標、具体的方策等) を説明。今年度の校内研究等の教育活動について協議、意見交換を行う。

(2) 11 月 25 日 (土)

本校会議室において第 2 回学校関係者評価委員会を開く。学校校会、参観、学芸会の鑑賞を行う。学校経営の様子 (中間報告)、校内研究 (体育科)、研究発表会の様子等について協議、意見交換を行う。給食の試食を行う。

(3) 2 月 4 日 (土)

本校会議室において第 3 回学校関係者評価委員会を開く。授業公開、参観。学校評価及び次年度の学校経営について協議、意見交換を行う。道徳地区公開講座の参観。

3 学校関係者評価の結果と分析

(1) 自己評価と委員評定及び主な意見

* 評価・評定は 4 段階 4: 肯定的な意見が 90% 以上 3: 70% 以上 2: 50% 以上 1: 49% 以下

目標	重点目標	自己評価	委員評定	委員意見
確かな学力	学習意欲	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挙手をして発言している児童が多い。学習意欲が高い。 ・ 学習面では「自分の考えを正しく伝える、プレゼンテーションスキル」や「多様な人とうまくコミュニケーションをとるスキル」を高めていけるよう、引き続き NIE をはじめいろいろな取組や授業上の工夫をお願いしたい。 ・ 児童がきたコンを使いこなしてよい。 ・ NIE 活動は北区で力をいれている事業なので、図書室を利用するなど工夫して取り組んでほしい。
	基礎基本の定着 学習指導	4	4	
	NIE 活動	3	2	
関係つくり よりよい人間	あいさつ 礼儀	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内・校外でどこでもあいさつをしてくれる児童が多い。元気よく声をだしてくれるとよい。あいさつ・礼儀に関してはコロナ禍の影響があるのかもしれない。
	基本的な生活習慣	3	3	
	異年齢集団活動	4	3	

	心の教育 道徳教育	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 地域の児童の数が減少し友達関係を築くのが困難な時代ではあるが、学年を超えたつながりや活動を重視し、児童達の社会性を身につけていく取組は大変貴重である。 道徳の授業で児童の身近な題材を取り入れたりきたコンを活用したりして、興味を持たせる工夫をしているのがよい。
すこやかな体じゅん	充実した学校生活 生活指導	4	3	<ul style="list-style-type: none"> 昼休みに校庭で元気に遊んでいる姿を見るとホッとする。若い教員も一緒にいることはよいこと。 体を動かすことの楽しさをどんどん指導してもらいたい。
	体力の向上	4	3	
	個に応じた指導 特別支援教育	3	3	
	給食指導	4	4	
	安全指導 安全教育	4	3	
教育 特色ある 活動	情報の発信	4	3	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、北区民まつりや他の行事が中止になっていることも地域へ対する愛着度に影響があるのではないか。
	地域を愛する 児童の育成	3	3	

(2) その他の意見

- ・学芸会では皆の一生懸命な演技に感動した。素晴らしい指導だった。
- ・長引くコロナ禍で、児童のためにいろいろと取り組んでくれてありがたい。
- ・道徳地区公開講座では、児童の実態に合った教材を工夫していてよい。講師の1年生への紙芝居や保護者への講話もすばらしかった。
- ・児童数の増加により、小回りのきく学校運営を行っていくことが難しくなる面もあるかと思うが、引き続き王子第二小学校らしさを活かしていただけるとありがたい。
- ・コロナ禍での入学を経た学年では児童と保護者、保護者間でも関係性がやや希薄に感じられる場面が見られる。例えば学校校会の際には保護者も共通して受けられる講演会等があれば、その後の会話のきっかけになるなど保護者間の連携が強まるのではないか。
- ・体験から学ぶことは多い。日常を大切にしながら様々な経験をしてほしい。
- ・若い教師が多いので、今後の活躍に期待している。

4 学校関係者評価を受けた改善の方向性

- ・教育活動全般に対し、概ね肯定的に受け止めていただいている。今後も地域とともにある王二小の特徴を生かし、「チーム学校」として課題の把握と改善に努め、子ども達に、様々な経験の機会を確保できるよう教育計画をたて、柔軟に対応していく。
- ・体験的に学ぶ活動を指導計画に位置付け、学校を取り巻く地域・環境・人材の活用を推進し、地域に誇りをもつ児童の育成に努める。
- ・まちたんけんなどの地域を調べる活動や講師を招聘して、「王子田楽」等の地域の伝統文化を学ぶ機会を充実する。
- ・引き続き図書館指導員と連携して「子ども新聞」を活用し、NIEの充実と学校図書館の連携を強化する。